

八町小学校

「子どものために」をきっかけに、
八町サポーター（ボランティア）の力で
よりよい八町小学校に！ そして、**地域がつながる**



「八町サマーチャレンジ」3年目

- ・ 中高大学生のサポーターの増員
- ・ 新たに習字講座とボランティア講座を開設
- ・ 読み聞かせと読書感想文講座は継続



豊橋八町小でサマーチャレンジ

児童の自主学習を支援

地域ボランティアが協力

豊橋市立八町小学校で30日、夏休み中の学習支援「八町サマーチャレンジ」が始まった。地域ボランティアの指導の下、60人以上の児童が自主学習などに取り組んだ。

「コミュニケーションスキル」による学校運営協議会主催の取り組みで、今年3年目。保護者や校区の人からなる八町サポーターや、教職経験者、中高大学生が先生役として子どもたちをサポートする。夏休みの宿題や苦手科目の学習、読み聞かせ、

読書感想文、習字などの講座がある。参加児童は年々増えており、初年は20人、2年目は50人、今年は120人が登録した。児童は自分の教科書や参考書、愛読書などを持ち込み、ボランティアに教えてもらいながら勉強に取り組んだ。

ボランティアもさまざま。八町サポーターの鈴木清次さんは教職経験者。「進学校を目指すような子と難問を一緒に考えるのは面白い」と語る。愛知大学文学部歴史地理

学科2年で教職課程を履修する山本廉太郎さんは教職インターシッピングの一環として応募。「現場を見て学ぶ貴重な体験。勉強させてもらいながら教えている」と話す。豊橋東高校1年の三浦大空さんは八町小が母校。友人と一緒に参加した。「取り組みに興味があった。今の子どもたちは意外と難しい問題を解いていて感心した」と述べた。

この日は、八町ベルクラブによる校区で集めたベルマークを分別するボランティア活動もあった。山本武志校長は「子どもたちの自主的な勉強の意欲が高まっている。取

り組みへの理解が広まるにつれ、多くの人が参加してくれている。ここで学んだ子どもたちが教える側に回る循環ができています」と語った。

【岸信博】

読書感想文に取り組む児童＝八町小学校で

ベルマークを分別するボランティア活動

7.31 東愛知新聞より

多くの八町サポーターに支えられています



おはなしのへや（クリスマス会）



農家の方による農業体験



クラブ活動（昔遊びクラブ）



始業前の教室の見守り



家庭科（裁縫）の授業支援



校外学習（スーパー見学）の支援

今後において

八町サポーターのさらなる増員

- ・ 現在150名
- ・ 地域住民、保護者、中高大学生
- ・ コミュニティ・スクールの活動への理解・協力のよびかけ
- ・ 将来は八町校区3000人、全員が八町サポーターに・・・

あなたも八町サポーターになりませんか

家庭科や書道、クラブ活動（昔遊びやスポーツ）の補助も大歓迎です！

①下のQRコードを読み取って質問に、答えていきます。名前、連絡先などを入力するフォームになっています。

※最後に必ず送信を押ししてください。これで完了！

②「eメッセージ」アプリの登録をお願いします。学校やコーディネーターからの連絡が届きます。

ア. 右のQRコードを読み込む
イ. ウェブサイトを開く
ウ. 団体コードと登録用コードを入力する

団体コード hacchousyou
登録用コード BThPui

➡ スマホが苦手、QRコードがよくわからないという方は、「八町サポーターになります！」と小学校の教頭へご連絡ください。(TEL52-1184)

八町コミュニティや学校新聞で随時募集

「学校を核とした
地域づくり」

地域の横のつながりづくり

- ・ 各種団体・個人の支援や活動のつながりをつくる
- ・ 学校や子どものための活動を通して、地域の人々同士の横のつながりを広げていく